

脳が喜ぶ！心が笑う！臨床美術

Clinical Art Guide



臨床美術とは？

上手も下手も関係なく、誰もが楽しみながら作品をつくることのできる、アートのひとつです。独自のアートプログラムに沿って創作活動を行うことにより脳が活性化します。認知症の症状改善を目的として始まりましたが、今では子どもや社会人など、様々な方々に実施されています。

↓ 社会人にも！



↓ おじいちゃん、おばあちゃんに！



↓ 学生にも！



↓ 子どもたちに！



臨床美術の流れ

描くこと、作ることが、
楽しく身近になります

作品を楽しみ
ながらつくる

独自のアートプログラム

クリエイティブな
発想が育ちます

五感を
刺激

リラックスできる
コミュニケーション



日常生活が
豊かになります

脳が
活性化

家族間の
コミュニケーションが
活発になります

ココロの
解放

感性の目覚め 覚醒



脳の活性化により
生きる意欲が
増加します

生きる意欲が
わいてくる！



独自のアートプログラム例 [りんごの量感画]

たとえば見た目ではなく、
香りや味の色から
描いてみる。



りんごを描く前に、まずはじっくり触る。香りをかぐ。切って食べる。りんごの生い立ちを想像する。形や色などの「視覚」だけで描き始めるのではなく「五感」を総動員して描いていきます。自分は絵がヘタと思っている人が、夢中で手を動かしたくなるような。そんな自由で楽しいプログラムをたくさんご用意しております。



特定非営利活動法人 日本臨床美術協会

[事務局] 〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂1-9 3 ShonanEminence 3F TEL 050-6865-3701 FAX 050-3737-9007
E-mail: association@arttherapy.gr.jp HP: <http://www.arttherapy.gr.jp/>

※「臨床美術」および「臨床美術士」は日本におけるTOPPAN芸造研(株)の登録商標です。